

国際火山噴火史情報研究所 第6回研究集会

日時：2015年6月13日（土）～14日（日）

会場：京都大学地球熱学研究施設（大分県別府市）

主催：福岡大学産学官連携研究機関国際火山噴火史情報研究所

後援：阿蘇火山博物館，熊本大学大学院自然科学研究科減災型社会システム実践教育研究センター，京都大学大学院理学研究科附属地球熱学研究施設

プログラム：

6月13日（土）

9時～12時：セッション1 「火山と地質」

1-1. 小林哲夫（鹿児島大）「露頭から読むカルデラ形成噴火とその前後の諸現象」

1-2. 堀川義之（福岡大）「西南日本の新生代後期珪長質マグマの起源」

1-3. 柴田知之（京都大）「九州の第四紀マグマの along arc variations」

1-4. 芳川雅子（京都大）・荒井章司・田村明弘（金沢大）・川本竜彦（京都大）・小林哲夫（鹿児島大）・奥野充（福岡大）・柴田知之（京都大）・D.J. Rivera, E.B. Bariso (PHIVOLCS) 「ピナツボマントル捕獲岩に記録された火山フロント下ウェッジマントルでの含水流体による交代作用」

1-5. 山崎圭二・中西利典・奥野 充（福岡大）・鳥井真之（熊本大）・E. Bariso・D.J. Rivera・R. Lim・C. Pogay・A. Daag (PHIVOLCS) 「フィリピン共和国，パイタン湖におけるボーリングコア試料の層序」

13時～18時：セッション2 テキスト「噴火史情報学入門」（1）

2-1. 奥野 充・鶴田直之（福岡大）「火山噴火史情報学とは何だろうか？」

2-2. 田口幸洋（福岡大）「地熱と温泉の地質学」

2-3. 奥野 充（福岡大）・小林哲夫（鹿児島大）「火山の地形・地質学」

2-4. 藤木利之（岡山理大）・鳥井真之（熊本大）「火山噴火と気候・植生」

2-5. 西園幸久・稲倉寛仁（西日本技術開発）「火山噴火と防災」

2-6. 鳥井真之（熊本大）「地質情報のデータベース」

6月14日（日）

9時～12時：セッション3 テキスト「噴火史情報学入門」（2）

3-1. 鶴田直之・高橋伸弥・奥村 勝（福岡大）「情報通信技術の基礎と活用」

3-2. 鮎沢 潤 (福岡大) 「地質情報と博物館」

3-3. 大野希一 (島原半島 GP) 「火山とジオパーク」

3-4. 鳥井真之 (熊本大) ・奥野

充 (福岡大) ・竹内裕希子 ・長岡千香子 ・渡邊勇 (熊本大) ・池辺伸一郎 (阿蘇火山博) ・永田紘樹 (阿蘇 GP) ・山口俊一 (熊本气象台) ・能登哲也 (熊本県) ・喜多敏博 ・松田泰治 (熊本大) 「阿蘇火山における地域防災対策支援研究プロジェクトに関する取り組み」

13 時～16 時：セッション4 「地質と情報」

4-1. 竹村恵二 (京都大) 「ボーリングデータベースと活断層調査」

4-2. 中西利典 (福岡大) ・竹村恵二 (京都大) 「ボーリング調査で生じる地質情報」

4-3. ホン ワン (KIGAM) 「KIGAM での分析データの管理活用」

4-4. 中村洋介 ・三村 悟 (福島大) 「災害時の応急避難生活」

4-5. 高橋伸弥 (福岡大) 「従来型のデータベース構築とは異なるアプローチによる利用者参加型噴火史データベースシステムの構築」

4-6. 奥村 勝 ・矢羽田優輝 (福岡大) 「ジオパークにおける体験価値向上を目指すガイドアプリケーションの開発」